

やさい週間情報(第22号)

平成29年9月8日(金)

全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	6,500~6,000	6,500~6,000	-	1本売り (2L・L) 498~398円	<p>本県産中心に北海道産の販売。</p> <p>引続き、入荷の少ない状況が続いており、特にC品を中心に不足感がある中での販売となっている。1本売り向けの2L級以下については、荷動きが良好となっている。ただ、B品の太物についてははまだ荷動きが鈍い状況となっている。</p> <p>来週以降、県全体の出荷量も徐々に増えてくる見込みのなか、9月中旬から10月上旬にかけ消費宣伝会を計画しており、売場の確保・拡大に努め需要の喚起を図り、相場の維持に努める。</p> <p>引続き、品質低下や折れも見られることから、産地においては選別の徹底や荷扱いに注意をお願いします。</p>
		A3L	6,500~6,000	6,500~6,000			
		A2L	5,700~5,500	5,700~5,500			
		A L	5,000~4,800	5,000~4,800			
		A M	4,500~4,300	4,500~4,300			
		B4L	5,500~5,000	5,500~5,000			
		B3L	5,500~5,000	5,500~5,000			
		B2L	4,700~4,500	4,700~4,500			
		B L	4,500~4,300	4,500~4,300			
		B M	4,200~4,000	4,200~4,000			
		C2L	4,400~4,200	4,400~4,200			
		C L	4,000~3,800	4,000~3,800			
名古屋	本県産 北海道産	A4L	6,500~6,000	6,500~6,000		1本売り 598~498円	<p>本県産・北海道産中心の販売となっている。</p> <p>消費地の高温や8月下旬以降消費宣伝会の実施により末端の売場は維持されていることから、太物・C品を中心に概ね保合での販売となっている。</p> <p>来週についても、引続き流通量の少なさから安定した販売が続く見通し。</p> <p>ただ、各市場とも品質不良の発生が続いており、仲卸からの返品が相次いでいることから、選果・選別および品質管理の徹底をお願いします。</p>
		A3L	6,500~6,000	6,500~6,000			
		A2L	6,000~5,500	6,000~5,500			
		A L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		A M	4,600~4,500	4,500~4,200			
		B4L	5,500~5,000	5,500~5,000			
		B3L	5,500~5,000	5,500~5,000			
		B2L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B L	4,700~4,600	4,700~4,600			
		B M	4,400~4,300	4,400~4,300			
		C2L	4,600~4,500	4,600~4,500			
		C L	4,200~3,800	4,200~3,800			

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L	6,000～	6,000～		カット 98～78円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 消費地では、日中こそ30℃前後となるものの、朝晩は涼しくなっている。量販店等ではカット品を主体に販売しているのは変わらないが、C品の引合いが強まる一方で、売価は変わらないままであり、売場も狭く、消費量は落ち着いてきている。 来週についても、価格は保合推移となる見込みだが、消費宣伝会を積極的に開催し需要喚起に努める。
		A3L	6,000～	6,000～			
		A2L	5,500～5,300	5,500～5,300			
		A L	5,000～4,800	5,000～4,800			
		B4L	5,200～5,000	5,200～5,000			
		B3L	5,200～5,000	5,200～5,000			
		B2L	5,000～4,500	5,000～4,500			
		B L	4,300～	4,300～			
		C2L	4,400～4,200	4,400～4,200			
		C L	4,000～3,800	4,000～3,800			
九州	本県産	A4L	6,200～6,000	6,200～6,000		カット 100g 88～78円	九州管内も朝晩の気温がようやく下がり、量販店の売場も秋商材がメインとなっている。 土物類の売場も拡張されている反面、ながいもの売場は若干売価が下がっているものの、売場構成に変化はない。 来週も流通量は多くはないが、現在の売場面積から拡張される時期ではなく、また、次年産への移行を見据えた場合、若干価格を下げてでも引続き売価設定の変更を図ることが肝要と思われる。
		A3L	6,200～6,000	6,200～6,000			
		A2L	5,500～5,300	5,500～5,300			
		A L	5,000～4,800	5,000～4,800			
		B4L	5,200～5,000	5,200～5,000			
		B3L	5,200～5,000	5,200～5,000			
		B2L	4,800～4,600	4,800～4,600			
		B L	4,500～4,300	4,500～4,300			
		C2L	4,000～3,800	4,000～3,800			
		東北	本県産 北海道産	A4L			
A3L	6,000～			6,000～			
A2L	5,500～			5,500～			
A L	5,000～4,800			5,000～4,800			
B4L	5,500～5,000			5,500～5,000			
B3L	5,500～5,000			5,500～5,000			
B2L	4,500～			4,500～			
B L	4,300～			4,300～			
C2L	4,200～4,000			4,200～4,000			
C L	4,000～3,800			4,000～3,800			

品名 に ん に く No.2

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産(生) 香川県産(乾燥)	A 2 L A L A M	2,200~2,000 2,000~ 1,800~1,700	2,200~ 2,000~ 1,800~1,700	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	本県産中心の販売。 本県産の入荷が非常に少ない状況が続いていることから、全体的に不足感が見られ、引合いの強い状態が続いている。出荷比率の低い 2L 級は強め、出荷比率の高い M 級についてはやや弱めの相場展開となっている。 比較的 M 級の入荷が多いため、ながいもの宣伝会に絡めた企画提案を行い LM 中心の販売環境づくりに努める。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,400 2,200 2,000~1,800 2,200 2,000 1,800~1,600	2,400 2,200 2,000~1,800 2,200 2,000 1,800~1,600		L 1 P 298~198 円	本県産中心の販売となっている。 引続き、各市場とも入荷量が少ない状況が続いており、総じて強めの販売となっている。入荷比率の多い M 級についてはやや弱めとなっているものの、2L・L については今週から一段上げての販売となった。 今後についても、9 月は出荷量が少ない状況は続くことから、価格は保合で推移する見込みとなっている。各社とも不足感が強く安定的な出荷が望まれている。
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,500~2,200 2,300~2,000 1,800~1,600	2,500~2,200 2,300~2,000 1,600~		L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 入荷量は少ないなかではあるが、例年より発生比率が高い M 級で在庫を抱えながらの販売になってきており、市況は弱含み推移となっている。ただ、2L 級・L 級では不足感が残っており、強含み推移。また、今年産が小玉傾向で数量が多くないことから、市場仲卸で在庫を抱える動きもある。 来週についても、入荷量は増えないことから同様の傾向が続く見込み。
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,200~2,000 2,000~1,800 1,700~1,500	2,200~2,000 2,000~1,800 1,700~1,500			量販店では、本県産の入荷量が極端に少ない影響により、輸入品および香川・九州各産地の品揃えが多くなっている。 当面、本県産の流通量が少ない予想から価格高が続く見込みではあるが、売場の狭さと輸入増が懸念される。

品名 に ん に く

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産	A 2 L A L A M	2,400~2,200 2,000~ 1,800~	2,400~2,200 2,000~ 1,800~	なし	L 1 P 298 円	先週に引続き、県内市場以外の入荷が無く、不足感が非常に強い。 入荷のある県内市場についても、平年と比べると入荷量が少なく、市況は2L級を中心に一段上げ。 来週についても、東北市場への入荷は少ないことから、市況は強保合での販売となる見込み。

品名 ご ぼ う

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 群馬県産	本県産 A 2 L A L A M 群馬県産 A M	2,000~ 2,200~2,000 2,500~2,300 2,000~1,800	2,000~1,800 2,200~2,000 2,500~2,300 2,000~1,800			関東近在産中心に本県産の販売となっている。 群馬県産は終盤、茨城県産および本県産の出荷となっているが総体量はそれほど多くなくLM中心に保合での販売推移となっている。ただし関東近在産については太物の比率が高く3L、2L中心にやや弱めの相場展開となっている。 群馬県産については残量は少ないものの今月いっぱい少量ながら出荷がある見込みとなっているが早めに本県産への切り替えを図るため継続的な出荷をお願いします。
名古屋	本県産 群馬県産	A M A 2 M A S A 2 S	2,500 3,000~2,500 2,400~2,200 1,800~1,700	2,500 3,000~2,500 2,400~2,200 1,800~1,700			本県産・群馬県産中心の販売となっている。 群馬県産が終盤となり流通在庫も整理されている中、今週から本県産の入荷が始まったが、2M以下中心で堅調な価格での販売開始となった。 来週以降、本県産も徐々に増量となる見込みだが、概ね保合での販売が見込まれる。

品名 だいこん

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 北海道産	A2L AL	800~ 900~	800~ 900~	—	1本 198~178円 ハーフカット 98円	北海道産中心に本県産の販売となっている。 北海道産中心の入荷となっているが、今週については、台風の影響から一部輸送がとまり、その影響から本県産への引合いが強まった。少しずつではあるが荷動きも良くなってきており、本県産についても徐々に品質面でも良くなってきていることも単価上昇の要因となっている。 来週についても極端な増加は見込めないことから保合で推移する見込み。
名古屋	本県産 岐阜県産 北海道産	A2L AL	1,100~1,000 1,200~1,100	1,100~1,000 1,200~1,100		1本売り 198~158円	本県産および北海道産中心の販売となっている。 北海道産の入荷が減少し不足感が高まった中、量販店の売場も秋商材へ移行しつつあることから引合いが強まり、上げ基調での販売となった。 来週についても、本県産・北海道産ともに生育の遅れから入荷量の回復が見込めないうえ、連休を控えていることから強保合での販売が見込まれる。
東北	本県産	平場 A2L AL 高冷地 A2L AL	800~ 700 900~ 800 1,200~1,000 1,400~1,300	800~ 700 900~ 800 1,200~1,000 1,400~1,300	—		本県・北海道産中心の販売。 北海道産の入荷が一時的に減少しており、本県産についても入荷が減ったことから、市況は強含み推移となった。 来週については、週の前半までは北海道産の入荷が少ないことから、強保合推移。週の後半からは、入荷が回復することから、市況は軟調推移となる見込み。

品名 こ か ぶ

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A2L AL	1,500~1,400 1,500~1,400	1,500~1,400 1,500~1,400			<p>本県産中心の販売。 今週についても天候不順の影響により数量が少ない状況が続き、かつ気温低下にともない売場も徐々に変わってきており、引合いが強まったことから堅調な販売が続いている。 今後も作柄の関係から数量は更に減り込むことが予想され、引続き堅調な販売は続く見込み。</p>
名古屋	本県産	A3L A2L	1,600~1,500 1,600~1,500	1,500~1,400 1,500~1,400			<p>本県産中心の販売となっている。 8月の天候不順の影響による生育不良と播種の端境等から不安定な入荷が続いている中、業務需要や学校給食への対応からバラ・結束品とも引合いは強く、上げ基調での販売となった。 来週以降、播種が薄い作型に入ることからさらに入荷量が少なくなるため、価格については概ね保合での販売が見込まれるものの、売場の維持が難しい状況。</p>
大阪	本県産	A3L A2L AL	2,000~1,800 2,500~2,000 2,000~1,500	2,000~1,800 2,500~2,000 2,000~1,500			<p>本県産中心の販売。 玉の肥大が鈍いことと、は種された面積が少ない作型の収穫となったことから、今週についても入荷量は大きく減少し、連日出荷とならなかったため、価格は強含みで推移した。 今後は入荷量の少ない状況が続く見通しであることから、不足感は続き、強保合で推移する見込み。</p>
東北	本県産	A2L AL	1,800~1,500	1,800~1,500			<p>入荷量の少ない状況が続いている。東北市場については青森県産メインの販売のため、絶対量が少なく、市況は強保合推移。 来週についても入荷量は大きく変わらない見込みとなっており、市況は強保合で推移する見込み。</p>

品名 トマト

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M	2,500～ 2,500～	2,500～ 2,500～			<p>本県産・岐阜県産中心の販売となっている。</p> <p>各産地とも生育が遅れていた分の出荷量が増えきっておらず、引続き不足感から先週よりもさらに一段上げての販売となった。</p> <p>来週以降も、他産地も含めて入荷量の極端な増加は見込めないものの、価格については上げきった感が強いことから、概ね保合での販売が見込まれる。</p>

品名 ミニトマト

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M 3Kバラ	200～ 180 240～ 220 2,200～2,000	200～ 180 240～ 220 2,200～2,000			<p>東北産、北海道産中心に茨城県産の販売。</p> <p>引続き、各産地のバラ、パック品ともに少ない状況がつづいており、特に学校給食等の業務需要の高まりから今週についても強保合での販売となった。茨城県産についても出荷量は多くなく、連休に向けては徐々に増えてくる見込みも極端な増加とはならない見込み。</p> <p>大玉トマト同様、各産地の入荷量はそれほど多くはないことから、今後も堅調な販売で推移するものと思われる。</p>

品名 ば れ い し ょ

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 関東近在産	メイン A 2 L A L A M	800～ 600 700～ 600 500～ 400	600～ 500 700～ 600 500～ 400			北海道産中心に本県産の販売となっている。 北海道産のメインについては順調な入荷となり厳しい販売となっているが、キタアカリについては、比較的入荷量は少なく保合での販売となっている。 売場の産地切替は更に北海道産へと変わってきており、今後も更に販売は厳しい状況となる見込みだが、本県産の終了時期等の産地情報をつなぎながら本県産の価格維持に努める。
名古屋	本県産 静岡県産 北海道産	メイン A 2 L A L 丸系 A 2 L A L	700～ 600 600～ 500 700～ 600 600～ 500	600～ 500 500～ 400 600～ 500 500～ 400			本県産・北海道産中心の販売となっている。 北海道の主産地の入荷が本格化し潤沢な入荷となっている中、学校給食需要などはあるものの総じて荷動きは鈍く、下げ基調での販売となった。 本県産の入荷は20日頃までの見込みとなっており、来週についても本県産・北海道産ともに潤沢な入荷量が見込まれることから、価格については弱保合で推移する見込み。また、一部で発芽が散見されることから、出荷時の検品の徹底をお願いします。
大阪	北海道産 本県産	メイン A 2 L A L A M 丸系 A 2 L A L A M	1,000～ 800 1,000～ 800 600～ 1,300～ 1,000～ 800 500～	800～ 800～ 500～ 1,000～ 800～ 400～			北海道産・本県産の販売。 北海道産の入荷は日が増加しており、産地も増えてきている。学校給食が再開され、本県産を主体に販売されたことから、価格については概ね保合推移となっている。また、丸系については、北海道産が小玉であることから、本県産の2L級の引合いはメインと比較すると強い状況となっている。 来週についても、北海道産が主体の入荷となるため、価格については弱含みとなる見込み。
九州	本県産	メイン A 2 L A L A M	1,200～1,000 1,200～1,000 1,000～ 800	1,000～800 1,000～800 800～600		袋 158～138円	量販店では夏商材から秋商材にシフトしてきており、ばれいしょの売場も拡張されているが、北海道産の入荷増により流通在庫も増え、価格は若干下げとなっている。 来週は、北海道帯広地区等が九州管内に更に入荷増となり、また、気温高が続く懸念もあるが、本県産の売場は保たれることから、極端な価格の下げとはならない見込み。

品名 ピーマン

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	関東近在産 本県産	A L 袋	1,200~1,100 75~70	1,200~1,100 75~70			<p>東北各産地中心に茨城県産の販売。 岩手県産の増加および茨城産の秋作のバラ産地の出荷も日々増加しておりバラについては価格を下げながらの販売となっている。 8月中旬までの低温により花落ちがみられる産地もあるため、微増推移も極端な増加とはならない予想で、引続き、バラについては弱め、袋物については保合での相場展開となる見込み。</p>
大阪	本県産 福島県産 兵庫県産	バラ A L 袋 A L	1,400~1,200 60~	1,400~1,200 60~			<p>本県産中心に福島県産・兵庫県産の販売。 天候の回復に伴い入荷量は増量したが、各産地においても増量したことから、総体量が多く、特にバラの荷動きは鈍化してきており、価格についてはバラが弱含み、150g袋で保合推移となった。 来週については、同様の傾向が続き、価格は概ね保合推移となる見込み。</p>
東北	本県産 東北産	バラ A L 袋 A L	1,200~1,000 65~60	1,200~1,000 65~60			<p>本県産・東北産の販売となっている。 先週に引続き、本県・東北産ともに入荷量少ないものの、高値の影響から荷動き鈍く、市況は弱含み推移。 来週についても、気温が低く入荷量の少ない状況が続くものの、他県産の入荷増から市況は弱含み推移の見込み。</p>

品名 露地ねぎ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A2L	1,600~1,400	1,600~1,400			<p>東北各産地中心に、新潟産の販売。 各産地とも、これまでの降雨の影響から軟腐等の発生により製品率が悪く極端な増加とならなかった為、今週については保合での販売となった。 来週についても各産地の入荷は更に増えることが予想されるが、売り込みの強化を図り、本県産の売場の確保、早期の荷動きの改善に努める。また以前に比べると軟腐等のクレームは少なくなっており、引続き選別の徹底および検品の強化をお願いします。</p>
	関東近在産	A L	1,800~1,600	1,800~1,600			

品名 きゅうり

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	Aコン	2,200~2,000	2,000~1,800			<p>東北各県産中心の販売となっている。 東北各産地の出荷は少なく、抑制産地の出荷も増えきらずに推移したことから、今週については強保合での販売となった。 関東近在産(埼玉産)の抑制物の出荷も徐々に始まっていくことから状況は下げ基調ではあるものの、情報以上に実際の出荷が少ないことも考えられ、来週以降は弱保合での展開となる見込み。</p>